

監督が怒ってはいけない大会

益子直美カップ小学生バレーボール大会
スポーツを楽しくプレーしよう

一般社団法人 監督が怒ってはいけない大会

監督が怒ってはいけない大会



叱られるのが嫌でチャレンジしなくなる。
その結果上達につながらない。
スポーツが楽しく出来ない。

私たちがバレーボールをしていた昭和時代の指導は「怒る指導」が当たり前。それで全国大会や日本代表など、素晴らしい体験をすることが出来ましたが、心技体、土台になる心の部分が育っていなかったと感じています。

社会人になり、主体性、自主性で、もっとバレーを楽しめ！と言われても、スポーツを楽しんだ事がなかった為、戸惑い、迷い、自信が持てず自主的の行動する事が出来ませんでした。

**「怒る指導」は心の成長を阻害し、考える機会を奪います。将来の夢や目標が出来た時、必ず壁が立ちはだかります。
その壁を超えるために心の基本、『強い意志』を作っておかなければいけません。
それは人から与えられたものではもろく崩れやすいと私は思います。**

小学生のスポーツを始めるこの時期はとても大事な時期です。根性がない！気合が足りない！と脱落させる指導ではなく、スポーツは楽しいと思い、自ら考え行動でき、継続できるような環境にして欲しいと考え、少し攻撃的ですが、シンプルに『監督が怒ってはいけない』というルールの大大会を開催させて頂きます。

「監督が怒ってはいけない大会」

は日本初の新たなスポーツの大会です！！

スポーツを通じて新しいことにチャレンジするスタートラインに立った子供達、小学生のうちはまだプレーは発展途上です。出来なくて当たり前。出来ないことを怒るのではなくチャレンジしたことをほめて欲しい。

監督・コーチが子供を怒った場合、益子直美が現場検証します。

怒ってはいけない大会では、勝ち負けではなく重要なのは「子供たちが伸び伸びとプレーする」ことです。

参加して頂く指導者には、大会のコンセプトを十分に理解して頂き、大会参加を機に自分の指導のあり方を今一度考えて欲しいと思っています。



せっかく始めたバレーボール、長く続けて欲しい！
そのためにはまずバレーボールを好きになって欲しい。
そして早く練習したい、バレー楽しい♪と思って欲しい。

そんな思いで始めた大会です。

一番は子供たちが楽しめる大会ですが、同時に監督がチャレンジする大会でもあります。

益子直美カップ小学生バレーボール大会 【監督が怒ってはいけない大会】大会理念

☆ 3つの理念 ☆

- 1、参加する子供が最大限に楽しむ
- 2、監督(監督、コーチ、保護者)が怒らない
- 3、子供たちも監督もチャレンジする

一般社団法人監督が怒ってはいけない大会の取り組み

- ▶ 1、小学生スポーツの目的改革、楽しく将来に繋がるスポーツ活動。
(勝利至上主義ではなく、生涯スポーツへの取り組み)
- ▶ 2、大人の暴言、暴力、体罰の撲滅。
- ▶ 3、講習会の開催（アンガーマネージメント、ペップトーク、等）
- ▶ 4、大会理念に賛同して協力して頂ける方の募集。
- ▶ 5、各地域で複数年大会を継続運営して頂ける方の募集。
- ▶ 6、大会にアトラクションを取り入れ大会を楽しく運営する事。
- ▶ 7、試合をトーナメントではなく、リーグ戦にて行う。
- ▶ 8、他のチームの選手（子供達同士）との交流を深める場を作る。
(アフターマッチファンクションの導入)
- ▶ 9、他競技スポーツとの交流と導入。

全国各地で他競技、他のスポーツ団体との交流も含め年間
10回以上の開催を目標に活動して行きたいと思っています。

大会実績

- 2014年6月 第0回 益子直美バレーボール教室 (24チーム)
鞍手町民体育館
- 2015年1月 第1回 益子直美カップ小学生バレーボール大会
(男子17、女子33、50チーム)
宗像グローバルアリーナ、その他
- 2016年1月 第2回 益子直美カップ小学生バレーボール大会
(男子15、女子32、47チーム)
宗像グローバルアリーナ、東海大福岡高校、その他
- 2017年1月 第3回 益子直美カップ小学生バレーボール大会
(男子13、女子32、45チーム)
宗像グローバルアリーナ、東海大福岡高校、その他
- 2018年1月 第4回 益子直美カップ小学生バレーボール大会
(男子13、女子32、1日のみ6、51チーム)
宗像グローバルアリーナ、東海大福岡高校、その他
ゲスト 元全日本女子バレーボール代表 坂本久美子さん
- 2019年1月 第5回 益子直美カップ小学生バレーボール大会
(男子12、女子32、44チーム)
宗像グローバルアリーナ、東海大福岡高校、その他

- 2019年1月 第5回 益子直美カップ小学生バレーボール大会
(男子12、女子32、44チーム)
宗像グローバルアリーナ、東海大福岡高校、その他
- 2020年1月 益子直美カップ小学生バレーボール大会
監督が怒らない大会の作り方 講習会
福岡市 本願寺福岡教堂
- 2020年1月 第6回 益子直美カップ小学生バレーボール大会
(男子12、女子32、1日のみ7、51チーム)
宗像グローバルアリーナ、東海大福岡高校、その他
ゲスト ペップトーク代表 岩崎由純先生
- 2020年12月 第6.5回 益子直美カップZOOMイベント (オンラインイベント)
ゲスト 元全日本女子バレーボール代表 大山加奈さん
- 2021年11月 『監督が怒ってはいけない大会』 秋田大会
- 2022年1月 第7回益子直美カップ小学生バレーボール大会
- 2022年6月 『監督が怒ってはいけない大会 サッカー大会』 秋田大会
- 2022年3月 『監督が怒ってはいけない大会』 山口大会
- 2022年6月 リーグ設立 『つながるリーグ』 福岡県 / 山口県
- 2022年9月 益子直美カップ小学生バレーボール大会 藤沢大会
- 2022年10月 『監督が怒ってはいけない大会』 高知大会 1日大会 × 2回
- 2022年11月 『監督が怒ってはいけない大会』 佐賀大会

取材実績

2015年1月	公式facebook 開始
2018年12月	朝日新聞
2019年1月	日刊スポーツ
2019年4月	女性スポーツ勉強会 神戸新聞、東京新聞
2019年10月	インターネット サカイク
2019年11月	スポーツ報知
2019年12月	毎日新聞
2020年1月	第6回大会取材 テレビ局3社取材 NHK おはよう日本 / 関西テレビ ミント / 福岡FBS めんたいワイド
2020年11月	NHK サンデースポーツ
2020年11月	藤沢大会取材 TBS 報道特集（膳場貴子キャスター）
2021年2月	朝日新聞デジタル
2021年5月	東洋経済オンラインニュース
2021年5月	NHK BS1 『スポーツ×ヒューマン #アスリートは黙らない』
2021年7月	中日新聞
2022年3月	山口大会 山口テレビ / 日本テレビ 『ニュースZERO』
2022年5月	福岡TNC放送 『記者のちから』
2022年7月	月間バレーボール取材
2022年9月	LINEニュース
2022年10月	高知大会 日本経済新聞取材
2022年10月	秋田大会 読売新聞 / 秋田魁新聞
2022年11月	佐賀大会 朝日新聞

益子直美（ますこ なおみ）プロフィール



基本情報

国籍	日本
生年月日	1966年5月20日
出身地	東京都葛飾区
身長	175cm
体重	58kg
血液型	A型

アニメ『アタックNo.1』の影響で、地元の金町中学校に入学と同時にバレーボールを始める。2年生の時に葛飾区大会で優勝し3年生ではチームの主将になり東京選抜に選ばれる。

高校は地元の強豪、共栄学園高等学校に進学。1984年の第15回春高バレーでは、バックアタックとジャンピング・ドライブサーブを武器に、八王子実践高等学校の連勝記録（当時）を106勝で止めて準優勝に輝く。同年、高校3年生で全日本代表メンバー入り『下町のマコちゃん』のニックネームで1980年代後半から1990年代前半の女子バレーボール界を席卷した。

1985年、イトーヨーカドー女子バレーボール部に入団。1990年、齋藤真由美らと共に第23回日本リーグで念願の初優勝に貢献。1991年度には主将を経験した。

その後も全日本代表メンバーとして活躍する。

現役引退後、バルセロナオリンピックの出場選手の事前合宿レポートを務め、イトーヨーカドーアシスタントコーチを務めた後1993年に退社、タレントに転身。

テレビ朝日のアトランタオリンピック関連のメインキャスターを務めたNHKの『トップランナー』の司会を長らく務めるなど幅広い芸能活動をこなす。

現在は2021年度より日本バレーボール協会の理事とタレント活動と共に一般社団法人監督が怒ってはいけない大会の代表理事も務める。



監督が

怒ってはいけない

大会